

教会の罪の悔い改めと主の十字架の赦しの歴史、そして取り残された人々に寄り添い導いてくださる主の復活の信仰に立って、在日大韓基督教会は100周年を迎えることができたのであり、そして今、宣教の第二世紀に遣わされているのです。その信仰告白を、日本に残された者とその子孫も、新たに本国や中国から導き入れられた者も、また日本人兄弟姉妹も忘却してはならないはずです。そのように在日大韓基督教会の信仰告白の中に記された「罪の縄目から解かれて」という一節の主體的な意味をしっかりと分かち合い、継承しようとするなら、どんな困難や理由をもってしても、どの個教会も在日大韓基督教会の絆から切り離されるはずがないのです。

＜中部地方会女性会＞

1日研修会開催



去る2月28日(火)午前10時30分から、中部地方会連合女性会(会長金甲粉勸士、豊橋教会)は、青年部(部長鄭仁仙執事、岐阜教会)の主催によって、33名の会員が参加して、一日研修会を開催された。午前には、李根秀牧師(大垣教会)により聖書講演がなされた。午後には、李大宗長老(名古屋教会)により、健康セミナーがあり、とても有益な研修会になった。(報告:鄭仁仙中部女性会青年部長)



지난 2월 28일(화) 오전 10시 30분부터 중부지방회 연합여성회(회장 김갑분권사, 토요하시교회)는 청년부(부장 정인선집사, 기후교회)의 주최로 33명의 회원들이 참가하여 1일 연수회가 개최되었다.

오전에는 이근수목사(오오가끼교회)에 의한 성경강연이 있었으며, 오후에는 이대종장로(나고야교회)에 의한 건강 세미나가 있었는데 매우 유익한 연수회였다.

(보고: 정인선 중부여성회 청년부장)

＜중부지방회＞ 교회여성연합회 신도공동연수회를 개최

3월 20일(화)부터 21일(수)까지 여성연합회에서는 [교회와 기도]라는 주제로 김무사목사(총회장)을 강사로 あいち健康プラザ에서 70명이 참가하여 신도공동연수회가 하나남의 은혜 아래에서 개최되었다.

개회예배는 김갑분권사(중부지방회여성연합회장)의 사회로 시작되어 김성제목사(나고야교회, 중부지방회장)가 “하늘에 계신 우리 아버지여”라는 제목으로 말씀을 전했다.

그리고 강사 김무사목사는 [기도의 원점, 의인의 기도, 기도의 보상]이란 주제로 강의하여 많은 은혜를 받는 유익한 시간을 가졌다.

이어서 정혜자권사(중부지방회여성연합부회장)의 사회로 김인과목사(기후교회, 중부지방회부회장)가 [시련과 예배]라는 말씀을 전하므로 폐회예배를 마쳤다. 중부지방회의 아름다운 교제와 사랑 나눔이 이어진 유익한 연수회였음에 감사한다.

(보고: 최화식목사, 중부지방회교육부장)

豊かな味はこころまで豊かにする。



代表取締役 吳永錫
(東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店

東京都新宿区四谷3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200

＜全国教会女性連合会＞

第 13 回 聖書セミナー開催

全国教会女性連合会が主催する、第 13 回聖書セミナーが、2 月 7 日（火）～8 日（水）在日大韓基督教会名古屋教会にて開催された。主題は、「聖書と私たちの暮らし」、副題は、「原発について、聖書からのアドバイス」とし、講師に内藤新吾牧師（ルーテル稔台教会）をお招きし、学びの時をもった。



私たちキリスト者は、3.11 フクシマ原発事故をどのように受けとめるべきなのか？フクシマで、一体何が起きているのか？地震大国といわれる日本は、なぜ 54 基もの原発を保有しているのか？そんな疑問を払拭すべく、次々と事実が赤裸々に語られた。原子炉の安全性に欠ける構造、嘘だらけの情報、弱者を利用した汚い手口など。原発問題の根っこにある差別の構造は、戦後の日本で解決されていない多くの問題と、全く同じ体質のものである事を再認識した。

その後、8 グループの分団に分かれて、講演を通じて学んだことを分かち合った。活発な意見が飛びかう中、“私たちはどうすればいいのか？”という問いに、内藤先生が聖書を通じてアドバイスされたことは「知る力と見抜く力とを身につけて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」フィリピ 1 章 9、10 節、4 章 12 節より、本当に重要なことは、隣人の命と、人権、地球の環境と平和が守られることであることを教えられた。そのためには、知り得た事実を身近な人に伝えることだ、と。これなら私にでもできる！NO MORE 原発！脱原発！いのちを守るために声をあげることに。勇気が与えられ、感謝すべき時間となった。

プログラムにおいては、金必順牧師（全国女性会総務）が、「人生をあきらめることなどできません」という題目で開会礼拝のメッセージがあり、兼松峰代（名古屋教会）、金英淑（大阪教会）2 名による、震災ボランティアから見てきた事について発題があった。

夕食後の交流会では、それぞれの地方会の報告を併せ、ひとりひとりが顔の見える楽しい交わりの時をもった後、沈貞児副会計の証し、李炫知西部地方会長による、とりなしの祈りで晩祷を終えた。翌朝の祈祷会では、2011 年度の全国女性会の奨学生である李公珩神学生の証があり、神学生のために祈り続ける大切さを思った。セミナー最後には、名古屋教会金性済牧師「人間創造の意味をふりかえる」という題目で閉会礼拝のメッセージがなされた。今年も多く教会女性（88 名）たちが一同に集い、み言葉によって、明日を生きる知恵が与えられたことを深く感謝するものである。

（報告者：金恵玉書記）

학습과 세례를 위한 준비교육 소책자 (学習・洗礼・入教 教育小冊子)

학습・세례・입교 교육은
준비교육 소책자를 이용하시면 유익합니다.

- 한국어 일본어 겸용이네요!
- 현대어 표현으로 알기 쉬워요!
- 글씨가 크고, 내용도 충실하네요!
- 신청: 총회事務局 (03-3202-5398)

福音新聞原稿募集

- ・内容: 各報告、証し、説教、自由投稿
- ・対象: 在日大韓基督教会の全信徒
- ・言語: 韓・日語（得意な言語でお願いします）
- ・写真: 1 - 3 枚程度
- ・期間: 年中（締め切り: 毎月 19 日）
- ・送信先: fukuinshinbun@kccj.jp
shinacho2003@daum.net
- *添付ファイルは、word 文書でお願いします。

福音新聞社 編集部

在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して 2006 年 4 月 25 日、創立 100 周年を迎えました。



- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設（ホテル）：フロントは日・韓・英語を対応、24 時間サービス。10 名様から 2020 名様会議及び宿泊研修（50 名様）も可能。
- ◆スペースワイホール：220 席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化（チャング・カヤグム・舞踊）教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆YMCA アジア語学院（日本語学校）※会員及び教職者割引有

在日本韓国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国 YMCA アジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5

関西韓国 YMCA アジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食 ¥200 カルピック、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食（全メニューコーヒー付き）		

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

＜全国青年協議会＞

青年のための研修会開催

2012年2月10日(金)～11日(土)にかけて、第12回青年のための研修会(青年研)が大阪教会で開催された。各地方から約50人の青年たちが参加し、近年では1番参加人数の多い青年研となった。



1日目の開会礼拝では、金必順牧師任が「イエスを抱く私たち」という題で説教がなされ、青年研はスタートした。その後、主題「信仰に灯りをともそう!」、副題「『神の住まい』である私たちがつながる場所」として、朱美恵代表による2011年度主題・副題に対する見解が読み上げられた。その文章は、「なぜ神様とつながっているのですか?」という根本にありながらも忘れてしまいがちな問いから始まり、代表の幼少期から今までの経験を証しとして語った。その後は各分団に分かれ、代表の言葉を聞いて何を感じたか、自分はどのように考えているかなどの意見を交わし合った。その中で語られた、青年一人一人の言葉にもとても大切に胸打たれ共感できるものが多くあった。

2日目には、講師を招いての主題講演が行なわれた。今年は、日本基督教団甲陽園教会で牧会をしている神山美奈子先生により、「継続は力なり」という題で講演をした。先生の証しとともに、讃美も交えたものであり、それに対して青年一人一人が真剣に耳を傾けていたのが非常に印象的だった。その後は各分団に分かれ、講演の内容と1泊2日で学んだこと、考えたことなどを話し合い、その後全体で発表した。そこでは、一人一人が自分の言葉で、2日間で感じたこと、今考えていることなどを語っていき、とても有意義な時間となった。

閉会礼拝では、武庫川教会の金聖泰伝道師が「みことばと向き合う」という題でメッセージをし、研修会を終えることができた。全国の青年たちにとってもとても良いときとなった。場所を提供した大阪教会、KCC、いつも青年を支えてくださる全国の信徒と牧師に心から感謝する。

(報告: 金在源)

＜寄稿＞「参政権」

日本の永住権者に地方参政権を求めたのが、1975年9月1日である。故崔昌華牧師は、北九州市長へ公開質問書を提出した。「統治機関に、権利は無く義務だけあるのは現代の奴隷だ」とも言った。鋭い指摘である。自分の権利を主張しないのは、「無知か、臆病か、怠けものか」と問い掛けた。

人権感覚は、鍛えられて高められるものである。「自分の権利(人権)は、勝ち取るものである」と教えてくれた。崔牧師は、福音宣教の領域を内面(霊・心)から実生活(肉・政治・社会)へと広げた。日本ではまだ実現しないままだが、韓国ではこの声が届き、今度の総選挙で初めて一票が投げられる。日本で、事前に有権者登録をしたのは、約1万8600人(有権者の4%)である。

54議席を争う比例区選挙の名簿に、在日韓国人2世康宗憲氏(京都市在住、早稲田大一客員教授、60才)が、野党の統合進歩党の18位に入った。康氏は、本国の人々に、「在日を理解してもらいたい」と話す。

実は、私も国政に一票を投じるのは、今回がはじめてである。成人した時は、独裁長期政権時代であった。同じ立場で、沖縄に在住している友人は、「一票」を投じる為に福岡まで足を運ぶ。特別永住者全体は、感無量である。

時代が変わると制度も変わる。日本で、地方参政権が得られ市長、知事、市・県議会議員選に立候補と、一票を投じる日を期待する。その日も「勝ち取るもの」であろう。大阪の青年団体は、各政党と立候補者に、在日韓国人への政策、南北の平和統一の政策等を質問し、その返答を公開している。「自分の意思を代弁してくれる人を自分が選ぶ、そして、税金を納める」。これが民主主義の基本である。外国籍の住民230万時代の日本である。37年前に投じた声は、新鮮な響きを持つ。(寄稿: 朱文洪牧師、小倉教会)

2012年＜全国教役者・長老研修会＞

・日時: 2012年7月16日(月)～18日(水)

・場所: 長崎県平戸(日本の聖地巡礼)

・主題: 키리ستان의 역사를 배우자!

「キリスタンの歴史を学ぼう!」

※詳細は、各教会に送った公文書を参照して下さい。

在日大韓基督教会教育委員会

東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- ・銀行 (BANK): 三菱UFJ銀行
(THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, Ltd)
- ・支店 (BRANCH): 高田馬場支店 (TAKADANO-BABA)
- ・種類 (SWIFT): 普通預金 (BOTKJPJT)
- ・口座 (A/C): 053-1615275
- ・名義: 在日大韓基督教会総会
(THE KOREAN CHRISTIAN CHURCH IN JAPAN)



在日大韓基督教会
 宣教 100～110 周年標語
 감사의 백년, 소망의 백년
 感謝の百年、希望の百年
 (데살로니가전서 5:18)

2012年4月1日(日) 第706号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

電話 03 (3202) 5398

発行人/金 武 士・編集人/洪 性 完

fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)

info@kccj.jp (総会事務局)

復活節説教 「わたしを愛するか」

(ヨハネによる福音書 21:15-17)

金性済牧師

(名古屋教会)



十字架の死からよみがえられた主は、ゲネサレ湖で漁をする弟子たちにご自身を現され、食事をされた後、ペトロに向かって「わたしを愛するか」と三度も尋ねられました。一度目も、二度目も同じように問いかけ、

同じように「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存知です」と答えるペトロに対し、「わたしの羊を世話しなさい」と命じられるのです。しかし、いよいよ、三度目も同じように主がペトロに問いかけると、ペトロは悲しくなって、「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」と答えました。

興味深いことに、イエスの一度目の問いも、二度目の問いも神の無私的愛を意味するアガペーの動詞形、アガパオーが用いられているのに、ペトロは二回とも「愛します」を、友愛・兄弟姉妹愛を意味するフィレオーが用いられているのです。ところが、三度目にイエスがペトロに「わたしを愛するか」と問いかけるときには、驚くべきことに、フィレオーが用いられているのです。

しかし、本来イエスとペトロはギリシャ語ではなく、アラム語で対話したのですが、二人が愛についてどのアラム語を用いたかは謎なのです。しかし、ヨハネ福音書はイエスとペトロの「愛する」を、ギリシャ語でそれぞれアガパオーとフィレオーとに使い分けることによって、わたしたちに何か大切なことを伝えようとしています。すなわち、イエスは神の無私的愛をペトロに求めたが、ペトロはその愛を生きられなかった自分の現実から友愛・兄弟愛を意味するフィレオーでしか応答できなかった。ところが、3回目にはイエスがそのフィレオーをもってペトロの愛を確かめようとされると、ペトロは悲しみに囚われてしまった。

そのペトロの悲しみには二つの意味が秘められていたのでしょうか。ひとつは、3日前にイエスが捕えられた時、ペトロは自分が3度、イエスを知らないと否認したことを想起せずにおれなかったから。今ひとつは、イエスが、アガペーが無理なら、フィレオーでなら愛せるか、という主の問いかけに、ペトロはそれでさえ自分が破綻してしまったことに

気づいていたのではないのでしょうか。しかし、復活された主の問いかけには、主に信従する信仰に挫折した傷を過去に背負い、打ちひしがれるペトロに「あなたはもう赦された。だから、今からはわたしの羊を養いなさい」という赦しの中から新しく生まれ変わる道を指し示す福音が輝いているのではないのでしょうか。

ペトロの3度に及ぶ主の否認の話は、すべての福音書に残されています。きっと、初代教会の宣教においてペトロはその恥ずかしい自分の歴史を、あれは仕方なかったこととして隠したりせずに語り続けたからでしょう。ペトロはその歴史を語り続け、語り継ぐことによって、十字架の恵みと、主の復活が自分に及ぼした力がいかに大なるものであったかを宣べ伝えようとしたのです。罪深く軟弱な自分に注がれた主の十字架の贖いの恩寵体験なしに主の復活の喜びも力も、ペトロには考えられなかったと言えます。

わたしは確信します、1945年12月、在日朝鮮基督教連合会の教役者・信徒は、あのペトロのようにこの主の御声に励まされ、戦後、挫折の中からよみがえるごとく再出発して行つたのであると。1940年1月16日、天皇制支配下に各宗教団体を隷属的に統制する宗教団体法の下ではたとえそうするほかないほどの事情があったにせよ、(在日)朝鮮基督教教会は開催した臨時総会において自らの決議として、旧日本基督教団に合同し、翌年6月、天皇制に隷属させられる日本基督教団に統合される道を選択して行つたのです。その道を拒否していたのなら、教団として大変な弾圧が待ち構えていたことは歴然としていたでしょう。軍国主義日本の圧倒的な脅威の中であの臨時総会の決議は苦渋の選択であったとはいえ、在日朝鮮基督教教会が天皇制に自ら屈服した消し難い歴史、つまりペトロの主の否認の歴史として忘れてはならないのです。

しかしだからこそまた、在日朝鮮基督教教会の戦後の再出発の中に、「あなたたちは赦された、さあ、祖国と故郷に帰る道を絶たれてしまったわたしの羊を養いなさい」と命じられる主の御声を聞いたのだと思います。ペトロが主の復活後と教会の時代にも自分の三度の主の否認を語り続けたように、わたしたちもどのような歴史的過ちを主に赦されたのかを忘れず、その意味を問い続けなければなりません。

在日大韓基督教教会がこれからも「在日」という、日本と韓国・朝鮮のはざまの歴史と現実の中で宣教課題として担われる一人ひとりの魂の癒しと救いも、人権を脅かされるすべてのザイニチとの共同の人権の確立のための闘いも、また朝鮮半島の平和統一への祈りと取り組みも、この十字架と復活の信仰告白から導かれることと言えます。(2面に→)